



## 活動紹介

子ども食堂の運営者がネットワークを組むことで、大きく3つの取組を進めています。

### 加入団体間の情報共有

各団体の活動状況の共有に加え、企業や自治体から入る食品提供の情報について、迅速に加入団体間で共有しています。特に新型コロナウイルス感染症拡大による休校が実施された際は給食の食材の寄贈が大変多く、こうした情報を透明性をもって共有することで公平性を担保し、加入団体の活動支援につなげました。

### 活動団体の悩み相談

子ども食堂を運営する中で、食材やスタッフが集まらない、同じ地域で活動する他の子ども食堂と参加者を取り合ってしまうなど、様々な悩みに直面します。こうした悩みを共有し、アイデアを出し合うことで、各団体の課題解決や活動拡大につなげています。

### これから活動を始める方のサポート

当ネットワークでは、月に2回以上の活動を3年以上継続して行っている運営者をマイスターとして登録し、これから活動を始める方へアドバイス等を行う制度を設けています。また、ボランティアの体験会を行うなど、子ども食堂の活動に触れていただくことにも力を入れています。

## エリアキャプテンの情報ネットワークでスムーズ支援

埼玉県子ども食堂ネットワークは、子ども食堂の運営者によるネットワークで、県内で活動する約140の団体が加入しています。社会福祉協議会や大学などがネットワーク化のきっかけとなることが多い中、子ども食堂の運営者自らが中心となってネットワークを立ち上げた珍しい形態のネットワークです。

県内を14のエリアに分け、それぞれのエリアにステーションを整備しています。また、エリアごとにキャプテンがおり、エリア内の活動団体の広がりや様子などの情報を細かくキャッチし、スムーズな活動支援につなげています。



埼玉県子ども食堂ネットワークHPへ

## 食品ロス削減のために

### 食材提供の安心を守る

多くの企業や自治体から、子ども食堂の活動を支える食材を提供いただいています。食材を安心して提供いただくため、提供いただいた食品の転売禁止や受領後の品質についてはネットワークが責任を持つこと等を明記した合意書を取り交わしています。

最近は冷凍食材の提供も多くなってきたため、昨年各団体やステーションでの冷凍庫の整備を進めています。合意書にも、冷凍品の提供の際は、冷凍車で受け取りに行くか冷凍設備のある拠点まで30分以内に運ぶ旨の記載を追記しています。

多くの企業や自治体が安心して食材を提供していただけるよう、今後も提供食品に関するルールと保管設備の整備を進めていきます。

### アイデアと柔軟性で活動を継続

本ネットワークに加入する団体は約140団体ですが、活動形態も目指す方向性も全て異なります。各団体の個性を大切にすることが様々なアイデアを生み出し、各団体の活動の拡大や継続につながっています。

コロナ禍で集まって食事をすることが難しい状況の中、作ったお弁当や食材だけを配ることならできる、公共施設が使えなくても民間の駐車スペースを一時的に借りてできるなど、アイデアを出し合い、活動の形態や場所、時間を柔軟に変えて活動を継続しています。



### 一般社団法人埼玉県子ども食堂ネットワークからのメッセージ

ネットワークの活動では、「透明」「迅速」「公平」を大切にしています。特に食品提供の打診があった際は「誰から、いつ、どこで、何が、どのくらい」を全体で共有します。透明性を確保することが公平性につながり、迅速な食材の受け取りと配分につながります。食品を提供いただくためのルール整備やいただいた食品を適切に保管するための設備整備も進めています。食品の提供をお考えの際は、ぜひご連絡をお願いします。

新型コロナウイルス感染症拡大以降、当ネットワークでは「笑顔応援企画」と題して、様々な知恵とアイデアを出し合って活動してきました。コロナ禍で子ども食堂の活動が全国平均で約3割まで落ち込む中、ネットワーク加入団体は約110団体が活動を継続しました。今後も、これまでの歩みを止めず、アイデア満載の活動で子ども達だけでなく、ボランティアさんや食品を提供してくれる企業の方などたくさんの方を笑顔にしていきたいと思ひます。